

時間割コード	G1D15301	開講年度	2026				
授業題目	ハングル初級（文法）Ⅰ					担当教員	延 鎮淑
英文授業名	Korean: Elementary Level (Grammar) Ⅰ						
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・1時限	対象学生	LⅠ／全
講義室	共通教育4-6 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	ハングルの読み書きができ、簡単な日常会話が出来るようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	韓国語の文字、発音、初級文法を説明していきます。初期段階での韓国語の発音は、日本語母語話者にとっては難しいかも知れないが、日本語の発音と関連付けて分かりやすく解説をしながら発音の練習をしていきます。文字や発音をマスターした後は基礎文法を勉強します。韓国語の文法は日本語と似ているので、日本語と比較しながらわかりやすく説明します。そして毎回授業の後半（約15分間）にビデオ教材を取り入れて、聞き取りの力がつくようにします。また復習がしっかり出来るように復習シートを使って、確実に韓国語文法がマスターできるように進めます。そして言葉の背景にある韓国文化も紹介します。						
(5)授業のキーワード	ハングル 韓国語 文字 発音 基礎文法 文化 異文化間コミュニケーション						
(6)授業計画	1)ガイダンス 2)文字編 第1課：基本母音 3)文字編 第2課：小テスト（基本母音単語テスト）・基本子音（平音）学習 4)文字編 第2課：小テスト（平音の単語テスト）・基本子音（激音・濃音）学習 5)文字編 第3課：小テスト（激音・濃音の単語テスト）・複合母音学習 6)文字編 第4課：小テスト（複合母音単語テスト）・終声学習 7)小テスト（終声単語テスト）・挨拶言葉 8)第1課：自己紹介の言い方学習 9)自己紹介発表 10)第2課：文法と表現 11)第2課：会話練習 12)第3課：文法と表現・小テスト（第2課の単語テスト） 13)第3課：会話練習 14)第4課：文法と表現・小テスト（第3課の単語テスト） 15)第4課：会話練習（15分間は、授業アンケートに回答） 16)期末試験						
(7)成績評価の方法	授業内活動 1割（韓国語での発話および活動の達成状況） 課題 2割（各課の練習問題） 小テスト 2割 期末試験 5割						
(8)成績評価の基準	全体の基準 卓越している：授業で示した文法や表現を正しく用いて正確な発音で教員と受け答えが出来、筆記で様々な表現が出来る かなり上にある：授業で示した文法や表現を正しく用いて教員と受け答えが出来、筆記で簡単な表現が出来る やや上にある：授業で示した文法や表現を正しく用いて簡単な内容の受け答えが出来、書き取ることが出来る 水準にある：読み書きが出来、基礎文法が理解出来、簡単な会話が出来る 不可：読み書きが出来ない、基礎文法が理解出来ない						
(9)事前事後学習の内容	毎回、授業終了後にその日の復習のための課題を課す。次の週に、授業内容の理解を問う小テストを行う。それに備えるために課題をしっかりとしてから授業に臨むこと ※この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	* この授業は二クラスに分かれており、授業内容はどちらのクラスも同じです。初回の授業で抽選によってクラス分けを行います。 * 単位を得るのが目的ではなく、韓国語を習得するのが目的にしてほしい * 通年で受講することが望ましい（後期からの受講は難しい） * 「ハングル初級Ⅰ（読解・会話）」「ハングル初級Ⅰ（総合）」や教養科目の「韓国の文化」と組み合わせ履修すると韓国語習得により効果的である * 遅刻と認定する時間：授業開始10分後、欠席と認定する時間：授業開始30分後						

(11)質問,相談への対応	1)授業の前後 2)メール yeonjin@shinshu-u.ac.jp
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（不可）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	仲島淳子他 河正一監修 『ワンアクション韓国語』, 978-4-255-55701-4 ,朝日出版社, 2023年, 2860円
【参考書】	授業時に発表する